

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01		
施設名	清掃リサイクル事務所				
所在地	町屋五丁目19番1号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	219,907	国・都	区債	一般財源
	増改築①	-			
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年7月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年7月		職員数	78人	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	新館:地上3階 旧館:地上4階	
面積	敷地面積			1,855 m <sup>2</sup>	
	延床面積		新館:735.85m <sup>2</sup> 旧館:1082.75m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬等の作業 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	有	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬等の作業、清掃車両駐車スペース、清掃リサイクル業務従事職員の執務室・来庁者対応窓口等				
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	作業(開所)日数(日)		310	309	311	310
電気使用量(kwh)		87,922	86,635	87,541	83,746	-
ガス使用量(m3)		30,507	28,770	28,988	32,576	-
水道使用量(m3)		6,079	6,048	6,455	6,172	-
に指定 用係る 等管理 費理						

備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。				
----	------------------------	--	--	--	--

III 財務諸表

(単位:千円)

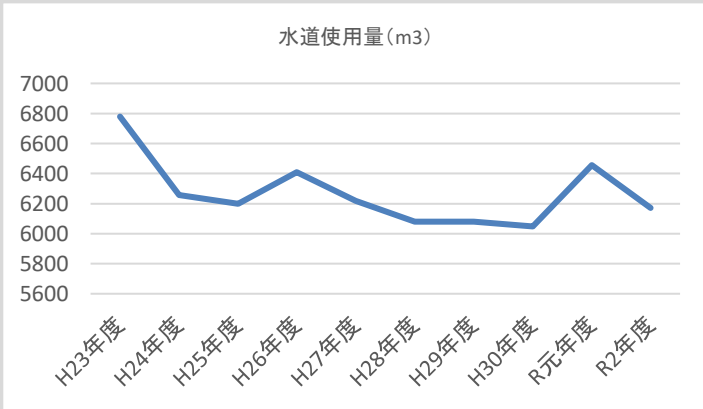
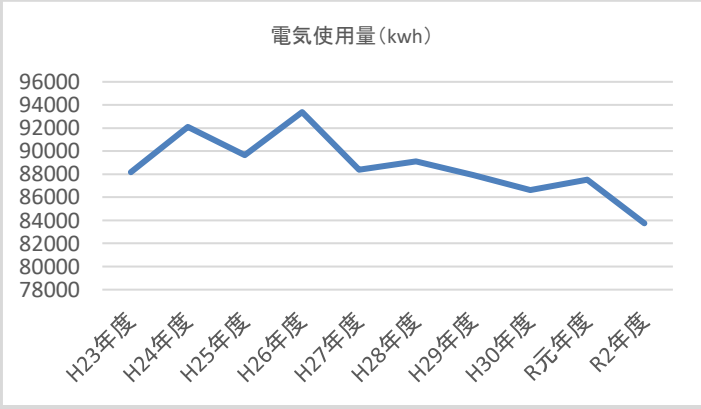
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	行政費用	給与関係費	583,142	574,191	▲ 8,951	地方税等	0	0
物件費		16,280	21,844	5,564	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		829	982	153	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	142	149	7
減価償却費		5,776	3,138	▲ 2,638	その他	109	102	▲ 7
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	251	251	0
賞与・退職給与引当金繰入額		88,555	133,448	44,893	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 694,331	▲ 733,352	▲ 39,021
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		694,582	733,603	39,021	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 694,331	▲ 733,352	▲ 39,021
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 694,331	▲ 733,352	▲ 39,021	
貸借対照表	流動資産				勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	33,315	33,324	9
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	374,448	371,517	▲ 2,931	賞与引当金	33,315	33,324	9
	土地	326,611	326,611	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	241,917	241,917	0	固定負債	565,187	621,404	56,217
	建物減価償却累計額	▲ 194,080	▲ 197,012	▲ 2,932	特別区債	0	0	0
	工作物等	3,749	3,749	0	退職給与引当金	565,187	621,404	56,217
	工作物等減価償却累計額	▲ 3,749	▲ 3,749	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	598,502	654,728	56,226	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 223,641	▲ 283,005	▲ 59,364	
その他の固定資産	413	206	▲ 207	正味財産の部合計	▲ 223,641	▲ 283,005	▲ 59,364	
資産の部合計	374,861	371,723	▲ 3,138	負債及び正味財産の部合計	374,861	371,723	▲ 3,138	

備考	物件費は庁舎管理に係る委託料・光熱水費等であり、維持補修費は設備等の修繕費等である。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室や公衆電話等の使用料であり、「その他」は自動販売機等の電気等使用料である。				
----	---	--	--	--	--

指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76.0	76.0	80.5	81.7	
	1㎡あたりコスト(円)	381,895	381,895	381,932	403,389	
備考	令和2年度の1㎡あたりコストは、前年度に比べ21,457円の増であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○他の公共施設に比べ経過年数の長い施設であり、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○廃棄物収集・運搬に係る区職員の減少の代替となる雇上会社清掃車両等が待機するスペースが、将来的に不足する可能性がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○南千住清掃車庫の有効活用を図り、清掃車両等の待機スペースの確保に努めていく。					
議会、利用者等からの意見						



令和3年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S07-02-02			
施設名	南千住清掃車庫					
所在地	南千住四丁目1番8号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成12年2月	380,197	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成12年2月		区職員	その他		
供用開始年月日	平成12年4月		職員数	8人		
構造	鉄骨造		階層	管理棟:地上3階 洗車棟:平屋		
面積	敷地面積			1,900 m <sup>2</sup>		
	延床面積			管理棟:994.80m <sup>2</sup> 洗車棟:123.52m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両の駐車・点検整備等 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)					
関連部署	環境課					
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等					
駐車場の状況	有	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ		



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両駐車スペース、清掃車両の点検整備・洗車業務、運転業務等従事職員の執務室等				
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	作業(開所)日数(日)		310	309	311	310
電気使用量(kwh)		92,337	94,356	89,931	97,630	-
ガス使用量(m3)		5,668	6,020	8,001	7,356	-
水道使用量(m3)		2,280	2,015	2,124	1,969	-
に指定 等管理 費理						

備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。
----	------------------------

**III 財務諸表**

(単位:千円)

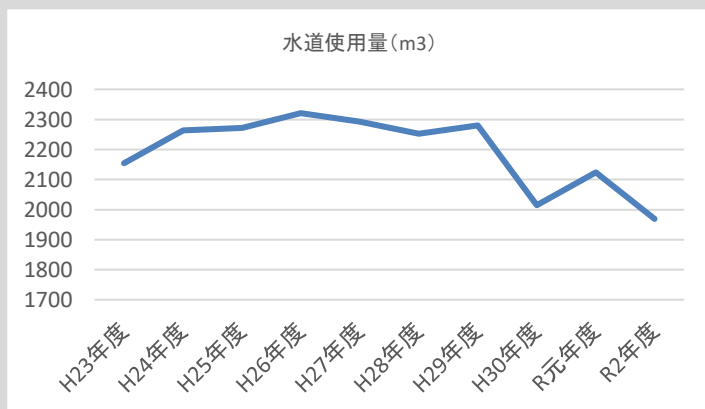
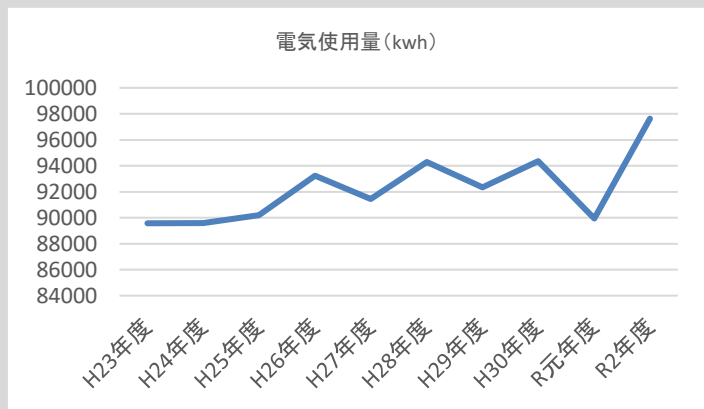
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	行政費用	給与関係費	68,334	59,077	▲ 9,257	地方税等	0	0
物件費		7,050	8,106	1,056	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		902	1,736	834	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	64	64	0
減価償却費		12,546	12,546	0	その他	57	55	▲ 2
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	121	119	▲ 2
賞与・退職給与引当金繰入額		10,377	13,730	3,353	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 99,088	▲ 95,076	4,012
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		99,209	95,195	▲ 4,014	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 99,088	▲ 95,076	4,012
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 99,088	▲ 95,076	4,012	
貸借対照表	流動資産				勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	3,904	3,429	▲ 475
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	862,667	866,048	3,381	賞与引当金	3,904	3,429	▲ 475
	土地	733,400	733,400	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	380,197	396,125	15,928	固定負債	66,230	63,934	▲ 2,296
	建物減価償却累計額	▲ 250,930	▲ 263,476	▲ 12,546	特別区債	0	0	0
	工作物等	64,856	64,856	0	退職給与引当金	66,230	63,934	▲ 2,296
	工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	70,134	67,363	▲ 2,771	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	792,533	798,685	6,152	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	792,533	798,685	6,152	
資産の部合計	862,667	866,048	3,381	負債及び正味財産の部合計	862,667	866,048	3,381	

備考 物件費は庁舎管理に係る委託料・光熱水費等であり、維持補修費は設備等の修繕費等である。行政収入の「使用料及び手数料」は、敷地内へのマンホール・電柱の占用に係る使用料であり、「その他」は自動販売機・コミュニティバス乗務員控室の電気等使用料である。固定資産における建物の増は外壁改修工事に伴うものである。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	65	65.3	71.0	71.2	
	1㎡あたりコスト(円)	93,879	93,879	88,713	85,123	
備考	令和2年度の1㎡あたりコストは、前年度に比べ3,590円の減であった。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ その他( ) ○ 他施設との統合 ○ 廃止					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	地元町会への施設開放等					
現状・課題	○竣工から約20年が経過し、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○保有清掃車両台数及び職員数の減少に伴い、施設のさらなる有効活用を検討していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○感染防止対策・熱中症対策を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を継続し、今後、リサイクル関連物品の保管スペースや将来的な清掃リサイクル事務所における駐車スペース不足への対応等、さらなる有効活用を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-03		
施設名	あらかわりサイクルセンター				
所在地	荒川区南千住三丁目28番69号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年 862,058			862,058
	増改築① 増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日	平成28年9月16日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成28年10月10日	職員数	5		
構造	鉄骨造	階層	2階		
面積	敷地面積	1,999 m <sup>2</sup>			
	延床面積	1,578 m <sup>2</sup>			
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項				
駐車場の状況	2	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	(1) 区内から回収した資源（びん、缶、トレイ、ペットボトル）の中間処理 (2) 区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3) リサイクル資源を使った工房・教室の実施					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
	開館日数	311	308	310	310	310
	来場者数（団体見学、工房等）	3,877	3,748	2,860	212	1,600
	工房・教室回数	145	111	68	39	65
	工房・教室参加者数	557	624	351	130	204
	工房・教室参加率（%）	50	62	60	85	80
	施設見学実施小学校数	24	24	24	0	24
	資源中間処理量（t）	2,627	2,654	2,710	2,949	3,000
に指定 等管理 費用						
備考	平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。 (令和2年度は感染症拡大防止のため施設見学会は中止、工房・教室は実施規模を縮小。) 資源中間処理量は令和元年度まで微増であったが、令和2年度から増加幅が大きい					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	勘定科目			R元年度	R2年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				流動資産	固定資産	流動負債			
	給与関係費			24,639	25,030	391	地方税等		0	0	0	
	物件費			24,503	24,134	▲ 369	国庫支出金		0	0	0	
	維持補修費			0	816	816	都支出金		0	0	0	
	扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0	
	補助費等			0	103	103	使用料及び手数料		784	756	▲ 28	
	減価償却費			36,468	36,468	0	その他		66	56	▲ 10	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		850	812	▲ 38	
	賞与・退職給与引当金繰入額			3,742	5,817	2,075	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 88,502	▲ 91,556	▲ 3,054	
	その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		▲ 432	▲ 413	19	
	行政費用合計(b)			89,352	92,368	3,016	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 88,934	▲ 91,969	▲ 3,035	
	特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 88,934	▲ 91,969	▲ 3,035	
貸借対照表		勘定科目	R元年度	R2年度	差額		勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	37,556	37,637	81			
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0			
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	36,148	36,184	36			
	有形固定資産	725,024	688,557	▲ 36,467	賞与引当金	1,408	1,453	45				
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0				
	建物	767,791	767,791	0	固定負債	409,311	376,335	▲ 32,976				
	建物減価償却累計額	▲ 103,506	▲ 138,008	▲ 34,502	特別区債	385,431	349,247	▲ 36,184				
	工作物等	66,636	66,636	0	退職給与引当金	23,880	27,088	3,208				
	工作物等減価償却累計額	▲ 5,897	▲ 7,862	▲ 1,965	その他の固定負債	0	0	0				
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	446,867	413,972	▲ 32,895					
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	278,157	274,585	▲ 3,572					
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	278,157	274,585	▲ 3,572					
資産の部合計	725,024	688,557	▲ 36,467	負債及び正味財産の部合計	725,024	688,557	▲ 36,467					

備考 物件費の主な支出は、光熱水費、施設の維持管理に係る保守委託料、土地賃借料である。行政収入の「使用料及び手数料」は、施設運営の委託業者からの目的外使用料であり、「その他」は同業者からの光熱水費受入である。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	4	9	13.1	17.5	
	1㎡当たりコスト(円)	103,405	55,389	56,631	58,542	
	人にかかるコストの割合(%)	15	29	31.8	33.4	
備考	平成30年度は施設の管理コストのみ計上するよう変更したことにより、1㎡当たりのコストが減少し、人にかかるコストの割合が上昇した。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	団体来場者数	目標値 1,760	2,800	3,000	500	1,600
		実績値 1,921	2,086	2,061	212	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区内におけるリサイクルの啓発活動の拠点となることが求められている。					
現状・課題	<p>○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。</p> <p>○通年実施の工房のほか、夏休み等の時期に子ども向け工房を実施し、好評を得ている。令和2年度は感染症拡大防止のため定員を縮小するなどして実施した。今後は参加人数等を分析して定期的に見直すほか、周辺施設との連携講座なども検討する。</p> <p>○来場者は、南千住地域からの割合が多いため、区内の各地域からの来場者拡充を図る工夫が必要である。</p> <p>○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、施設を安定的に稼働することが必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。</p> <p>○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。</p> <p>○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。</p> <p>○資源の中間処理施設として、引き続き安定稼働できるよう運営・管理を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会 「普及啓発の拠点としての活用」					

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-04		
施設名	尾竹橋施設				
所在地	荒川区町屋7丁目16番21号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成7年12月	48,452	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成7年12月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成12年7月		職員数	0	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上2階	
面積	敷地面積			3,235.85	m <sup>2</sup>
	延床面積			554	m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	リサイクル事業用品の保管に使用				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	なし				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	(1) 町会及び推進団体等に貸与する回収用折りたたみコンテナやペットボトル回収用ネット等の保管 (2) 組成調査及び排出原調査の検査場所				
対象者	区民				
運営時間等	運営時間				
	休日				

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	電気使用量(kw)		1,072	538	847	336
水道使用量(m <sup>3</sup> )		2	1	3	1	3
に指定 等管理 費理						

備考	
----	--

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	890	844	▲ 46	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	2,910	2,910	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,800	▲ 3,754	46	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	3,800	3,754	▲ 46	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,800	▲ 3,754	46	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,800	▲ 3,754	46	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
固定資産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	614,379	611,469	▲ 2,910	賞与引当金	0	0	0
	土地	561,895	561,895	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	107,770	107,770	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 55,286	▲ 58,196	▲ 2,910	特別区債	0	0	0
	工作物等	13,330	13,330	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 13,330	▲ 13,330	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	614,379	611,469	▲ 2,910	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	614,379	611,469	▲ 2,910	
資産の部合計	614,379	611,469	▲ 2,910	負債及び正味財産の部合計	614,379	611,469	▲ 2,910	

備考	行政費用の物件費は、施設の機械警備や樹木剪定、害虫駆除に係る委託料等である。
----	--

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	50	49.5	56.7	59.1	
	1㎡当たりコスト(円)	6,936	6,878	6,860	6,777	
備考	令和2年度は前年度に比べ、1㎡あたりのコストは83円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	-	-	-	-	-	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○平成12年度に清掃事業の移管に伴い東京都から譲渡された施設。移管後20年間(令和元年度末まで)は清掃関連の施設として使用する必要があったが、家具のリユース等の開催や、備品の保管等で活用してきた。</p> <p>○用途指定期間終了後の活用として、都市公園の整備用地への転用が検討されてきたが、令和3年4月15日付で、敷地すべてが(仮称)町屋公園の拡張区域となる旨の都市計画決定がされた。</p>					
課題に対する現時点での考え	○令和3年度に公有財産の移管等を行う必要があるため、施設内の物品の整理・活用を検討する。					
議会、利用者等からの意見	平成26年度予算特別委員会 「有効活用の検討」					